



オランダ国際球根協会ニュースレター 2010年07月号 VOL.016 「ユリの特集」

第9回 Ms.Lily 2010 授賞式 今年の Ms.Lily は堀北真希さんが受賞！



7月4日(日)午後3時からフラワードリーム in 東京ビッグサイトのメインステージで第9回 Ms.Lily2010の授賞式が行われました。

それに先立ち、IBC(オランダ国際球根協会)と花キューピット協同組合が行っている「Happy Mother To Be」キャンペーンについてのコンセプト、歴代の受賞者やテーマリリーを紹介。引き続き、ゲラルド・ミッヘルス駐日オランダ王国臨時代理大使がご挨拶。大使は「ゆりはヨーロ

ッパではお母さんを象徴する大変高価な花でした。しかし、現在は園芸産業の発達により比較的手軽に入手できるようになり、女性に感謝の気持ちを伝える時、ゆりを贈ることがとても一般的です。また、日本で生産されているゆりの多くにオランダから輸入されている球根が用いられており、日蘭友好の役割も果たしています。」と述べられました。

そして、いよいよ今年の受賞者、女優の堀北真希さんが登場、花キューピットの井瀬美雪会長から記念の盾が、ミッヘルス大使夫妻からゆりの花束が贈呈され、会場を埋め尽くした多くの人々から祝福の拍手を受けました。

今年のテーマカラーは、赤の「セレブレーションレッド」そして白の「マザーホワイト」、ピンクの「ハッピーピンク」で、贈られた花束は赤のピビアナでした。

堀北さんはインタビューに対し、「花が大好きで、友達のお誕生日などにはお花をプレゼントします。ゆりはエレガントな雰囲気があり、この賞をいただいて本当にうれしい。また、花束もとてもかわいくて気に入っています。」と素敵な笑顔で答えました。

年々、知名度が上がっている Ms.Lily。この催しは多くのメディアにも取り上げられており、「Happy Mother To Be」キャンペーンとの相乗効果でゆりの更なる普及に役立つことを願っています。

(記事は JFTA 中村会長)



CONTENTS

第9回 Ms.Lily 2010授賞式 今年の Ms.Lily は堀北真希さんが受賞！
テーマカラーに「セレブレーションレッド」加わる。「Mis Lily」と「Happy Mother To Be」
IBC は、フラワードリーム2010に出展「日本のゆり」を展示しました
「Fashionable Lily」新しいパンフレットができました
札幌オリンピックのスピードスケートメダリストの名前をユリに命名
アメリカでも大きなユリのショーがありました 「リリートピア」 ロングウッドガーデン

CONTENTS

テーマカラーに「セレブレーションレッド」加わる。「Mis Lily」と「Happy Mother To Be」

今年のテーマカラーは昨年の白とピンクに加えて赤が加わりました。その名も「セレブレーションレッド」。これで、白の「マザーホワイト」、ピンクの「ハッピーピンク」、赤の「セレブレーションレッド」と華やかさが加わりました。IBCのお薦め品種は、レイクキャリア、ピコ、モンテズマ、ピピアナ、コブラ、チリです。チェックしてみてください。



堀北さんのウエルカムブーケとして使用されたブーケ(かねとういさおさんの制作)。ユリは「コブラ」



昨年のテーマリリーについて：<http://www.kyukon.info/Bol-tot-bloemen-ms-lily2009.pdf>

「ハッピーマザートゥビー」キャンペーンについて：<http://www.kyukon.info/happymothertobe.html>

IBC は、フラワードリーム2010に出展 「日本のゆり」を展示しました

IBC は、7月3日(土)～5日(月)の3日間、東京ビッグサイトで行われた「フラワードリーム2010」(主催：JFTD 社団法人日本生花通信配達協会)に協賛し、ブース出展しました。

IBC ブースは360度オープン展開のユリのディスプレイをつくり、様々な品種ユリの展示も行いました。日本各地で生産されるユリの数々を大きな5本のタワーで品種名、産地名を示して展示し、それぞれの魅力を伝えました。今年のテーマは「Fashionable Lily」。新しく制作した同名タイトルのユリのパンフレットも配りました。



最終日の5日(月)には、NHK教育テレビ「趣味の園芸」の公開収録があり、ステージでの収録のほか、ブースでの撮影もおこなわれました。公開収録は、7月11日(日)放送分の「ユリの香りに誘われて」。講師は、とっとり花回廊のトップマネージャーで育種家の矢澤秀成氏でした。番組司会進行役の盆栽作家、山田香織さんを相手に日本に産するユリの原種や育種の話、香りの違い、花粉のユリの球根、植え方、もしも服に花粉がついたら、など興味深い内容をとても楽しく、わかりやすくお話しされています。放送予定は以下のとおりです。

趣味の園芸 「ユリの香りに誘われて」7月11日(日)NHK 教育あさ8:30～。再放送:7月16日(金)

NHK 教育よる 9 : 00 ~。 <http://www.nhk.or.jp/engei/engei/>

JFTA 日本花き球根輸出入協会は、日本のユリを P R し販売するブースを出展し、新潟のユリを販売しました。たくさんのお客様がユリの花束を抱えてうれしそうに帰る姿が数多く見かけられました。



「Fashionable Lily」新しいパンフレットができました



ユリが使われるさまざまなシーンをすてきな写真で紹介する新しいパンフレットができました。インテリアへの合わせ方、デザインスタイルなどインスピレーションが湧き出してくるような内容になっています。ユリの品種についても市場で入手できるものを中心に OH、OT、LA、AH の特徴を紹介し、色別に分けて整理してあります。

ご希望がございましたら IBC までメール等でお問い合わせください。

札幌オリンピックのスピードスケートメダリストの名前をユリに命名

オランダのスピードスケート界の天才 アルト・シェンク氏は、5月9日に行われたキューケンホフ公園リリーショーのオープニングに際して新しい LA ハイブリッドのユリに自身の名前を命名しました。

この新しい LA ハイブリッドは、色は白。優れた特徴として、上向きにつぼみとしっかりした茎、つまった小ぶりの葉、日持ちのよさなどが上げられます。

アルト・シェンク氏は、オランダ史上最高のスケート選手として今でもその名を知られています。18歳の時に世界記録を打ちたて、1972年に日本で開かれた札幌オリンピックでは3つの金メダルを獲得しています。この新しいユリは、キューケンホフで行われる世界最大のユリの展示会でお披露目されました。(オランダの雑誌から)



アメリカでも大きなユリのショーがありました 「リリートピア」 ロングウッドガーデン



アメリカのペンシルバニア州フィラデルフィアの郊外にあるロングウッドガーデンで今年の5月末に大きなリリーショーが行われました。ロングウッド・ガーデンは、大財閥のひとつ、デュポン社の3代目社長ピエール・デュポン氏により設立されたアメリカ屈指の巨大な園芸テーマパーク。敷地面積は、425ヘクタールもあり、そのうち約4分の1をロングウッド・ガーデンとして公開されているそうです。

園内には、フランスやイタリア風の庭園、古城、噴水など趣向を凝らした20の庭と20の温室があり、世界中からの観光客が訪れています。この園芸の楽園では、フラワーショーや、ガーデニングの実演、教育プログラム、子どもへの教育活動、コンサート、ミュージカルや花火など、毎年たくさんのイベントが開催されています。

今年の5月21日から31日まで、「リリートピア」という名前の新しいリリーショーが行われました。この展示はオランダのユリの種苗会社各社による最新の品種の展示会であり、新しい時代を祝うものです。使用したユリの品種数は210品種、10,000本以上の切り花、鉢植えを展示したとてもエキサイティングな催しです。





ショーのデザイナーは、ドリーン・ファン・デン・ベルグさん Dorien van den Berg (オランダでもっともクリエイティブなフローラルデザイナーであり、キューケンホフの Lily show のデザイナー)。彼女のデザインは、East Conservatory のスペースを最大限に利用し、木の様なユリの茎の塔や、ユリの壁、花でいっぱいの巨大な花瓶などがアレンジされました。ドリーンさんはこのイベントのために事前に Longwood Garden に何度も足を運びました。実際に完成した作品には息を飲むような驚きがありました。

準備段階でドリーンは、イタリアまで出向いてガラスや陶器を探し、職人に頼んで展示用の金属加工を制作。花のすばらしさを引き立たせるためにさまざまな工夫を施しました。ユリの品種や資材は慎重に選ばれ、色、手触り、香りのバランスのとれた完璧なデザインとなりました。

近年の品種改良により、新しい色、模様、八重咲き、香りの良い、あるいは香りのない、または花粉のないなどの幅広い種類の新しいユリの黄金時代が作ら

れています。花は、センターステージを埋めつくすように飾られました。コンセプトは包括的なもので、教育的、専門的、芸術的、エンターテインメントの要素を合わせ持つようになっていて、アメリカの時代精神とグローバルなトレンドのフュージョン、双方の枠を超える経験を創造するようなデザインを表現しました。作品は、消費者も専門家も感動するものとなりました。アメリカの有名な TV 番組である「マーサ・スチュワート・リビング」でも取材・インタビューが行われています。

計画が決まって、実際に準備を進める際もたいへんでした。準備は長期にわたりました。展示用のユリは、最高品質でオランダ以外では見られないもの。キューケンホフのユリのショーのために育てるものでした。ユリは冷蔵庫に入れておくのですが、寿命が短くなるのが難点。そこでチームが計画したのは、オランダで数時間前に収穫し、展示しようということでした。栽培ハウス、倉庫、輸送会社、空港、輸入業者、政府、トラック会社の連携ネットワークを設立し、花の安全で迅速な輸送を可能にしました。

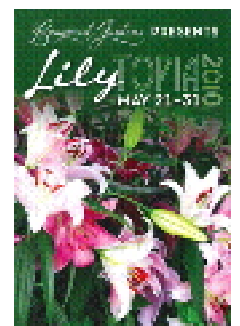
今年、キューケンホフのリリー・ショーには、開花時期が合わない品種がありましたが、リリートピアには間に合いました。蘭・米のチームは楽しく仕事を進め、すばらしい花で米国の来場者を喜ばせました。彼らはキューケンホフとともにアメリカ人に最高の品種カタログを見せることができ、オランダのパートナーから直接花や球根を購入できます。期間中、来場者と専門家に、別々の投票場所で、気に入った品種を投票してもらいました。投票結果は 1 位 Picc(OH)、2 位マルタゴンリリー赤花選抜品種 3 位 Tigerwoods(OH) 興味深いことに、専門家の結果も 1 ~ 3 位まで消費者と非常に近かったということです。

リリートピアHP : <http://www.longwoodgardens.org/lilytopiadisplay.html>

ドリーンさんの登場するリリートピア動画情報 YouTube

<http://www.youtube.com/user/GrowerTalks#p/a/u/0/afJmfgLi7tc>

(リリートピアの写真提供 掛川花鳥園 大塚園長)



今月はユリ特集。華々しい国内外のキャンペーンイベントをお知らせしました。華々しさのかけに着実な努力を継続していることがわかります。多様な品種がありながら、生産量が一部の品種に偏っていると言われるユリ。品種に興味を持って名前を覚えてもらうことがユリの魅力を伝えるきっかけになりそう。次号はユリに関心を持ってもらうためのIBCの新たなプロジェクトについてお知らせします。

オランダ国際球根協会ニュースレター第 016 号 7 月号 発行：オランダ国際球根協会

HP : <http://www.kyukon.org/> メールアドレス ibc@auroraip.com